

一級河川 新堀川導水路 河川改修事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

地元
の声

・台風の時などに川が溢れそうで心配だ。（地元住民）

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします

事業の概要

- 事業箇所: 明和町須賀～入ヶ谷
- 事業内容: 河道拡幅 延長1,470m
- 事業期間: 平成30年度～

- 現況流下能力: 約15m³/s
- 計画流量 : 25m³/s

事業前

- ◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

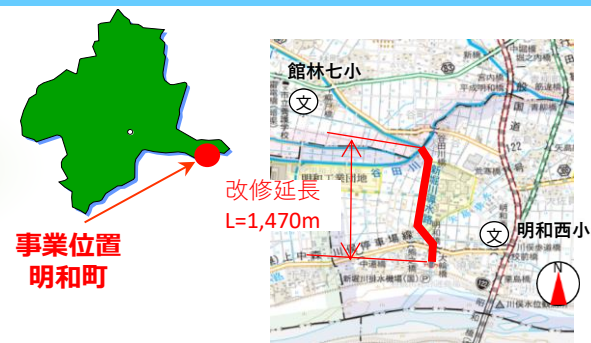


事業後のイメージ

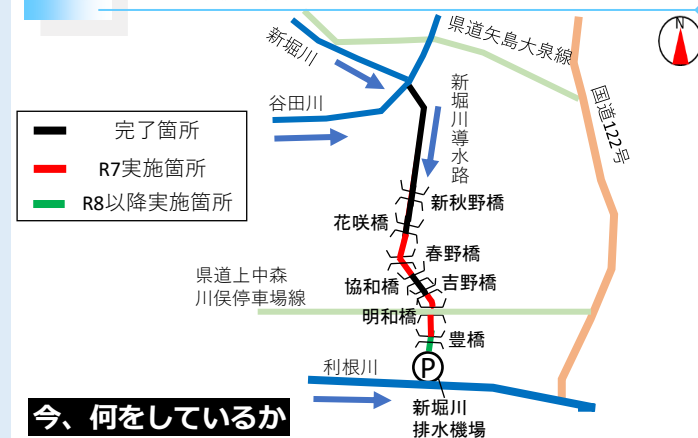
成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	233ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	97戸

実施後(目標)
183ha
0戸

※一級河川新堀川および新堀川導水路河川改修事業の実施後による効果

事業位置
明和町改修延長
L=1,470m

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、矢板護岸工事や河道掘削工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始●

●事業完了